17号

無

改

趣

### 有 緣 の 方々に 懇志を仰ぎ 七月末完工

堀内角 寺 旧 墓地 同 (角右衛門) の懇志により建立されました。 0 無縁仏の供養塔は、 高橋太市 (助太郎) 昭和十年五月、 菅弁次郎 平岡横次郎 当寺墓地の墓 (九左衛門) (三右衛



ぎ 議にはかり、 られました。 憂慮されておりましたところ、 近年台座のコンクリー (三条屋) 氏を中心に工事が進められ爾来五十六年が経過しました。 「早急に改修されたい」と発起人となり懇志一金壱拾万円を寄せ の四氏が発起人となり八枚沢 お盆のお墓参りに間に合うよう七月末完工の予定で工 そこで本年二月の定例総代会議、 ト部分が歪み石組もくずれかけ危険な状態が 昨年十二月菅保氏が亡父の遺志をつ から墓石を運び出し石工稲月藤吉 本日開催の世話方会

ます。 私たちも引継いでまいらねばと存じます。 るに忍びず、 幸にして無縁の墓として荒廃していくのを見 方々にご懇志をお願いすることに 々はもとより広く趣旨にご賛同頂ける有縁 事をすすめ、当寺の墓地に墓所をおもちの にとぞ事情で賢察を賜りこの改修工事の完 をとむらってこられた先人のご懇念を後代の にご協力下さるよう伏してお願いを申し上げ 建立当初の経緯に想いをいたしますと、 これを供養塔に納め手厚く菩提 なりました。 不 な

す。 を堅固 る台を設け、背面に納骨を容易にできる扉を クリートで補強します。 え自然の風情を保 れておりますが、 にできるだけ使用いたします。 つくり建立当初と改修時の銘板を埋め込みま 工事は塔 現在供養塔の周辺に に固 石と台石は原形を残 その周辺は塔石との調和を考 読経の後、 つべく山形石を組んでコン 正面にはお参りでき 無縁の墓石が放置さ 割 って基礎工 基 一礎工 事 事

にありがたいと存じます。 ころまでに、 おりますが、 右なにとぞよろしくお願い 工事費とし 直接当寺宛お納め下されば太変 で懇志は八月のお盆のお墓参り て約壱百弐拾万円が見積られ 0 合 掌 7

門信徒各位

平成三年五月二十二日

ま

広福寺住職·世話方一同

## 新潟教区主催 『聞法の集い

## 真宗門徒のありかた

本山総務 日野英宣師 おれらは深く如来の本願を信じて 本山総務 日野英宣師 かれらは深く如来の本願を信じて



心ではなく私無しの信心、 心の違いがある。 ちを救わんとする仏が、 のです。 きるということです。 いていける確信ですね。 の言い方をすれば、 る信心」、 を信じて」とあるが、 に目覚めていかなければと思います。 て下さっておることなんです。 られているということをなかなか受けとれ のお誓いです。ところがこの する私たちをどうしても救いたいという仏 ひたすら浄土往生を期せんへ教条> 来の本願を信じて 仏の本願があるということは、 他宗の信心は私の 真宗の信心は私の決めた信 決まった信心と決めた信 真宗の信心は もうすでに引き受け 如 仏の心を心として生 来の 心の底から落ちつ 信じた信心、 願いが私にかけ まずそのこと 本願とは、 賜りた 「本願 私た 别 苦 N

えす。 派な花輪がズラッと並ぶでないかと。 さんも子 確に示した言葉です。 で高校生の息子が何でと反対に質問をくりか 浄土往生を期せん お母さんは、 よいポスト……しまいに死んだら立 供に勉強せえ勉強せえという。 よい学校、 これ 受験地獄でどこのお母 は人生の目標を明 よい会社、 そこ ょ

であります。 臭宗門徒の人生の究極目標にな 念仏を申して仏に成ることが人生の目標 人は 浄土に 「念仏成仏これ真宗」 つい 何 でも仏になるために、 て阿弥陀経 17 と示され ってくるわけ もろもろの それが まし

日に第5回が予

定されております。

れが浄土というところなのです。ろうとも、それが苦でなくなるような世界そ苦あることなし」とあります。どんな苦があ

# 聞法会例会第百六十回例会記念講演



は熱気にあふれました。 史を堀り起こすお話 寺 陀如来像守護行動と題 彦山の親鸞伝説と阿 目 演 0 L して 昨年十 の講演会、 奈倉哲二 て東京都立大学講 聞法会の主催で二 頂きました。 月三 一先生から講 地 元の 日 時間 歴 弥 弥 

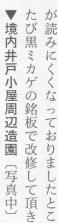
たでいいのよ、 ちをともに 会教育委員長の竹下 よろしくお ご案内い 願いをいたし内諾を頂いております。 の関係で後半の阿弥陀如来像守護 質問も多く会場 十八名の 共感ということを力説されました。 すんでなくてみんない サルナー 新潟教区主催第4 本年七月に引続きご講演い たしますのでお気軽にご来聴のほど トで開 願い 方が参加されました。 真宗と教育― あ いたします。 なただけが私ひとりが かれました。 哲先生を講師に、 回仏教講演会 っし 」と題して白根市 よて…… あ ただくようお なたはな 行動に 長崎県 追 7 寺 とび つい 0 って 0 社

寄進を頂きました。 護持のために寄せら 昨年度次のような御 寺

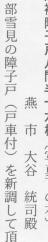
礼を申し上げます。 れました御懇念、 まことにありがたく厚く御 (写真上)

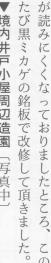
### 門柱寺標銘板改修

御寄進 懇志 同 永年の風雪のため宗派・寺号の文字 柱は昭和七年五月長岡 (世話人柄沢要助殿) 金壱万円 金弐拾万円 観音寺 横浜市 で建立されま 市 小野サワ殿 柄沢正雄殿 木村重二殿



り寄進されました。 ん三人で一日がかりで造園して頂きました。 カゲの山灯籠、 庫裡障子戸八間半十六板 造園業を営む狩野さんが亡父の法要に当た 水溜石、 几 国 山茶花二株等庭師さ 一の赤石三個、 〔写真下の右〕 甲州ミ





東京都 彰三郎殿 この





無縁供養塔改修懇志 一金壱拾万円 菅

際にも大変に助かりました。 教区主催聞法の集いで庫裡四部屋使用

0

### 墓地北側参道改修 庫裡垣根山茶花補植 〔写真下の左〕

わり墓参りの方々に喜ばれております。 側溝を取り付け 参道 の敷 石が 転圧を加えて立派に改修が終 雨水の土砂でおおわれるため 口 殿

麓 区 保殿



H 0

の定例総代会議で別

表IIの決算書、

予算

補助金が交付され

ました。 年

営繕管理

費で掲

しまし いった祖気

事業費で

年度は教化

費で前

一同様聞

法会に

万四

案がそれぞれ

承認され

ましたのでお知ら

定例総代会議

0

お知らせ

去る二

せ申し上げます。

御本山 寄せら

と菩提寺のおもりた

おとりもちに

れ

まし

た門徒各位

0

と御代前三具足

(写真)

を新調しました。

師

前

五具足

今年度の取り組みとしましては、

(会議・集会用和机兼用)

兀

十脚を新調

おとき用

は仏光寺派末寺の規格に合 示板や鐘楼の撞木を修理

げます。

本年もよろしくお願いいたします。

御懇念まことに

ありがたく厚

く御礼を申し上



### Ⅰ平成2年度 当寺勧金決算書

[収入の部]

〔支出の部〕

決算額
2,162,000
49,432
30,795
2,242,227

負担金	の内訳
広福寺分	485,572
心光寺分	136,420
ともしび	21,000

科 決算額 要 摘 寺務経常費 担 642,992 本山護持金・ともしび 事務通信費 96,494 複写・はがき切手 83,990 費 世話方 · 総代会議 200,470 化 費 御布教·聞法会補助 営繕管理費 281,160 撞木修理・火災共済ほか 門徒交際費 63,950 寄進人謝礼。新築見舞

1 1,369,056 計 祖師前五具足•御代前三具足 事 費 849,750 業 繰 繰 金 23,421 計 2,242,227

当寺勧金予算書 平成3年度

〔収入の部〕

様

の御協力を切に

お願い申

し上げます。

科 目 算 額 2,100,000 勧 金 雑 入 収 40,000 繰 越 金 23,421 計 2,163,421

〔支出の部〕

科目	予 算 額
寺 務 経 常 費	1,400,000
事業業費	700,000
予 備 費	63,421
計	2,163,421





た。 なり三月九日の梵鐘 N 12 が勇退されることに 欠かさずお世話を頂 ておりました菅保さ

講

菅保さん) 。〔写真は昨年十一月に感謝状と金壱封を贈

御苦労を煩わすことに 経営の 保さんの後任とし なりますが、 なりました。 3 お世話を頂くてとに 区の武石貞吉さんか 後任に武石さん ため今後 門信徒 寺の護 大変 て麓 な 持 菅

ときの不便が解消されることになりました。 で今まで巾がせまく、おときの食器を並 たしたく七拾万円の予算が計 上され、 2

戸 当 ヨたり八 千円 0 勧 金 昨年同 今年

\$

しますのでよろしくお願い申 して頂くことが申し合わされ のおられない地区 様 一戸当たり八 千円の は住住 職がお願いに参上い 勧金を八月までに上納 し上げます。 ました。 世話方 た

# 勝手頭の菅保さんに感謝状

水年にわたり勝手頭として、 世話人として寺の行 また梵鐘講 事 0